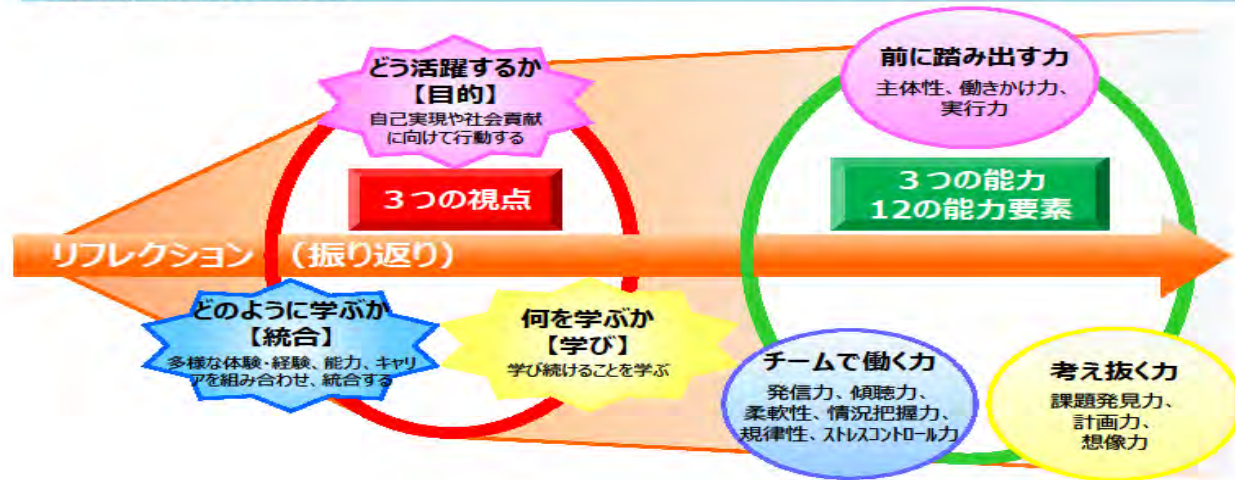


自己紹介

- 伊藤佳世
 - 経営情報学部
 - 環境 SDGs スマート社会
 - 環境人材育成
 - 標準化人材育成
-
- ゼミの学生
- 中部大学ESDエコマネーチーム

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容として、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



中部大学ESDエコマネーチーム

国際標準化 + SDGs

「標準を使う・作る・教える」を通じた
環境人材育成 + 標準化人材育成

専門ゼミ生が執行部 学部内外からの学生60名で構成
ゼミ生の役割→チームの執行部としてチーム活動すべてを運営するとともに、ピアサポートを担当する

活動を通じて身につく社会人基礎力 例

① 前に踏み出す力 (主体性、働きかけ力、実行力)



標準化教材を
教えられるよう育成



新入生が学校に馴染
めるようサポート



企業の責任者に授業
一教材採用

② 考え抜く力 (課題発見力、計画力、創造力)



チーム発足時
に策定



国際標準を理
解するための
教材開発



総合監査による
チームの長所・
弱点の発見

③ チームで働く力 (発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力)



1~4年生で構成
(3年生中心)
連絡管理



Facebook
Skype
サイボウズ



環境イベントで
標準化教室実施



標準化教育
・日本工学教育協会
・ICITE for SD

社会人基礎力
+ 産業界で通じる専門知識
→ 人生100年時代を生き抜く力

SDGS+超スマート社会

標準化

教材
開発

教材
実演

企業
支援

教材
開発

研修
実施

中高
大
連携

教材
開発

授業
実施

消費者
課題

教材
開発

教材
実演

青少年
育成

紙芝居
開発

紙芝居
実演

SDGs と超スマート社会（国際標準化）

伊藤 佳世 ゼミナール

持続可能な開発を担い、地域・社会で選ばれる人の育成



SDGs や超スマート社会に焦点をあて、標準化に関する3つの実践（標準を使う、作る、教える）を行います。

「標準に関するスキルと人生100年時代に必要な社会人基礎力」を身につけます

標準を使う
担当者レベルのスキル

標準を作る
世界レベルの標準化教材

標準を教える
連携：自治体、学校、企業

環境マネジメント全国学生大会



かがやけ☆ あいちサステイナ研究所

中部サステナ政策塾

映像「生物多様性×SDGs」制作

地域の未来を模索

中日新聞

日本経済新聞



MCS 持続性デザインイノベーション国際会議

環境県 龍本県 水俣市

いちむら

JCI 日本企業国際連盟

愛知県 愛知商業高等学校

愛知商業高等学校

GPN Green Purchasing Network

名古屋市 春日井市

中部大学春日丘中学校

名古屋国際大学

日進市

エコステージ協会

エコステージ協会

学生主体の標準化教育 Student oriented education on standardization

2011 記号 ISO 労働安全衛生 ISO45001

2012 環境 Environmental Management Systems 環境マネジメントシステム If you were President ISO14001

2013 事業継続 ISO22301

2014 社会的責任 ISO26000

2015 品質 Quality Management Systems 品質マネジメントシステム ものづくり Manufacturing of High-quality ISO9001

2016 エネルギー energy expert ISO50001 + 消費者 ISO50001 + 消費者

2017 SDGs 世界を教える Save the World ISO20400

2018 SDGs + 超スマート社会 / ISO20400

2019 リスク まもるくん リスクマネジメント ISO31000 + ISO22000

中部大学ESDエコマネージャーFB

伊藤佳世研究室 Kayo Ito Lab



将来の進路例

企業全般の経営者・管理者 標準化にかかる人材

国際標準/環境・品質・防災・労働安全・CSR・SDGs・超スマート社会の担当者

社会的評価	産業	職種	卒業後
社会人基礎力グランプリ中部地区大会 奨励賞 愛知学長懇話会 ESD実践賞 中部大学ESD教育研究発表会 学長賞 3回	卸売り 小売	企画 管理 (総務 人事 法務 知財 内部監査 物流 調達 店舗 開発 教育研修)	入社直後 ・ 即戦力として会社から認識 ・ 新入社員代表として入社式で宣誓 ・ 配属先が出世コース
標準化専門家との連携 欧州経済委員会、経済労働省 日本規格協会 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会	情報通信	技術的職業 (プロジェクトマネジャー、システムエンジニア)	配属直後 ・ 営業成績全社で1位 ・ 社長から表彰 ・ 会社の顔としてHP等で紹介される
学会発表 日本工学教育年次大会 画像電子学会 環境マネジメント全国学生大会 SDGs日本政策学生研究会	公務	地方公務員 消防 警察	→ 1年目からリクルーターに！
・愛知県研究員 かがやけあいちサステナ研究所 吉本興業 日本ガイシ、SARA株式会社 トヨタ車体 東レ メニコン IKEA 新日鐵 ミツカン 名鉄観光 ユニー 三井住友銀行	製造	研究開発 環境・品質管理 SDGs	
・名古屋市 映像「生物多様性×SDGs」制作 ・中部サステナ政策塾 塾生	広告代理店	広報 IR 商品企画 マーケティング 宣伝 広報	
外部資金 名古屋市消費者プロジェクト	不動産 建設	営業 現場監督	
	旅行業	販売サービス職 販売 旅行 教育	
	電気 ガス	営業 技師	
	運輸	営業	
	医療 福祉	介護士	
	農業	農林水産業支援	
	金融 保険	専門的職業 コンサルタント	
	飲食	店長	

これからの石川彩音

経営会計学科・4年 石川彩音



学ぶ

・持続可能な社会の重要性
・社会人基礎力



過去

【課題】
・チームで達成したことがない
・大学で変わりたい!

【解決】
・中部大学ESDエコマネーチームに所属

現在

【課題】
・リーダーとしてチームへの働きかけ

【解決】
・アドバイザーの先輩へ相談

未来

【課題】
・4月から新たな環境
・大学での経験の生かし方

【目標】
・将来のリーダー
・職種を生かした地域貢献活動

4年間の学生生活

これまでの自分

- ・人間嫌い
- ・自主性皆無

中部大学ESD

エコマネーチーム

- ・2年時に急にイベント準備のリーダーに
- ・成果を残し、3年時、委員長に
- ・3年時主力メンバーが5人(通常の3分の1)

学んだこと

- ・責任者としての責任の重さ
- ・仲間のおかげで耐えられた。乗り越えられた。
- ・成功経験が自信を生む
- ・失敗は恐れる。事前に準備をし、失敗しないように行動する。
- ・時に失敗覚悟で挑戦すること

1年生



2年生



3年生



4年生

大学入学から4年間の活動しました。



経営学科3年 青木泰樹

チャレンジした理由

- ・中部大学ESDエコマネーチームの指導教員に提案された

科目で学んだこと

- ・私は特に地域防災と安全という講義で行われた手法を活動に応用

これから

- ・4月から警備会社社員として働くことになる。地域の方々の安全のため、連携活動が重要
- ・学生時代に得た経験を生かし、安心安全にかかわる社会貢献を行いたい。

学生主体による活動を通じて

経営会計学科 3年 若杉拓哉

学生が自ら国際規格について学び理解を深めるエネルギーの国際規格と消費者の標準を学ぶ標準化教材開発

地域での実演を通して周知を図る。

人と地域をつなげる

委員長としてチームをどのようにまとめるか。多くの支え
課題発見 チームメンバー 地域の人々

チームで働く力を身に着けた

得業介護系の仕事に就きたい。
→周りの人と協力が必須
能動的に働きかける
地域有識者の推進



社会人基礎力グランプリ奨励賞受賞



人の役に立つこと

経営情報学科・3年・小林涼太郎

将来
地域連携の経験を活かし、社会人になったら
地域に役立つイベントや活動を考えたい。

企画力と継続力
+
社会人基礎力
奨励賞受賞



第54回中部大学祭
企画担当

今後
社会人



パローでのバイト
2年半継続中
現在 チェッカーでの
バイトリーダー格

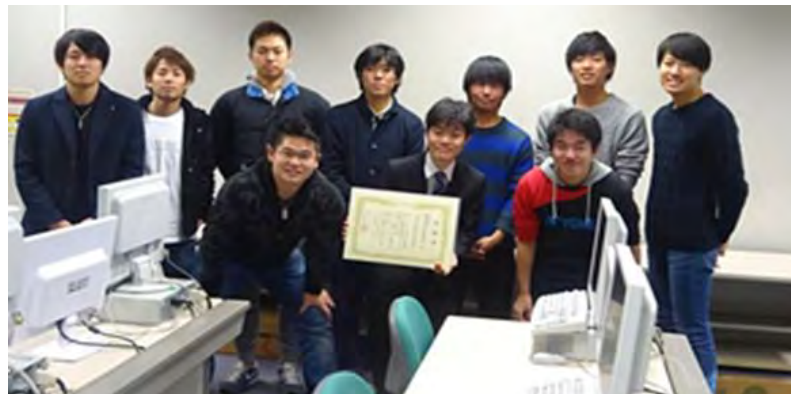


考察した企画

アルバイト

中部大学祭
実行委員会

高校生での演劇部活動
自動車学校などの経験



頂上を目指して！

10回目 経営総合学科・3年 萩原悠平

地域とのつながりを大切にするため
自ら行動できる人材に！

責任感→行動力

3回目 3年生
チームの部長として
・部長を任せられ、人の上に立ち、指示を出す側に

自ら行動を起こせる
人間になりたい！

1回目 中部大学入学
これまでの自分は・・・
・責任感があったが行動力のない人間だった
・誰かからの指示待ち状態になることが多かった

2回目 2年生
チームとの出会い
伊藤先生のゼミに入り、チームの活動を知る

学ぶ：教材開発を主体となって行う
0から1をつくる
動く：イベント出展し、教材の実演

～地域活性化活動～

経営総合学科 3年 倉知大就

～学ぶ～ 環境と地域作りと連携を学ぶことができ
～動く～ 主に地域の環境をテーマとしたイベントに出展。

学ぶ、動くまでの成り立ち

～活動前の自分～
・思うことがあっても人前に出て指示や意見をあまり言えない人間だった

～活動の始まり～
・研究室を決める際にチームでも活動している人として成長できると思い決断。

～活動開始～
・地域の何で盛り上げられるか調べる。(美濃地産など)
・他大学と連携をして日産の町おこし活動を実施。

～実際に活動して～
・他大学との会議を繰り返し、意見をはっきりと言うことができたようになった。
・実際に動いてみるということが大事であると感じた。

資格を取得してSDGsを推進していきたい

リーダーと言えるために

経営総合学科 3年 小林将也

1年目 大学入学
今までの私
・無責任な人間であった
・やりたくないことはやらなかった

2年目 伊藤ゼミ
・ゼミ活動での新たな経験
・報連相と期日の順守の重要性に気づく
・責任感を持つ

3年目 チームの委員長
・チームのトップに立ち全てを見渡し適切な指示を出す側になった

学ぶ：社会人基礎力のおかげでチームを動かす原動力になった
動く：チームの進捗管理をして、メンバーをけん引した

人の上に立ち自分を成長させたい！！

問題発生
チームがバラバラになる

今後
私は今後リーダーの経験を活かし、人と地域をつなげることをし、より良いまちづくりを担う1人として頑張りたいです。

私の人生は発展途上

経営総合学科 3年 樋口雄大

過去の自分
中部大学入学前
これまでの自分は、忍耐力はあったが、責任感や行動力が欠けていた。自分に自信を持っていない。

現在の自分
中部大学入学後
中部大学ESDエコマネーチームに出会うことでチームの活動を知る。

スキルアップ
東京の専門家に意見も聞き改善

チームのメンバーとしての役割の責任感
イベント時出展を行い実演する行動力

教材の作成時に何度もチャレンジしたが、やり直しの指摘を受けた。しかし、諦めずに完成させることができた。

自分も誇れる人間に成長

将来像
SDGsのことを学び教材を0から作り上げることが出来た。この経験を生かし、地域におけるSDGsの課題を解決できる製品やサービスを作りたい。

地域に関する明るい光

経営総合学科 3年 宮本裕哉

～これまでの自分～
面倒なことを放棄し、一匹狼として寂しい生活を送っていた自分だったがESDエコマネーチームに所属してから大きな光が照らした。

学ぶ
社会人基礎力では、チームの状況を把握し、多くの意見を聞くことで問題の解決策を見つけ出し、その力は実際責任者としての持ち味となった。

動く
ESDエコマネーチームでは、イベントでの出展、イベント前に行い周知活動。来場者の増加方法、満足度を考えた。ここで発進力の重要さが大切だと感じた。

責任者としての初業務

～今後の自分～
地域と企業の連携を大切に、スマートエネルギーを主体とした活動を広げ、一人でも多くの子供たちに知ってもらえるよう社会に貢献し、問題点にも幅広く対応していきたい。

地域活動を通して

経営総合学科・3年 柴田昭莉

動く
地域共生実践では、共生の必要、重要性を学び、持続学のすすめでは、持続可能な社会を作るため、多方面から持続を考えることが必要ということを学んだ。

学ぶ
地域イベントへの参加、主催イベントの実施により、コミュニケーション力、積極性の大切さを学んだ。

<資格チャレンジ理由>
地域創成メディアーターとなり、自分を変えるチャレンジがしたい！！

<自己成長の価値>
人見知り、人と話すことが苦手だった。コミュニケーションがとれず何事も一人でやることに・・・

コミュニケーション能力が高まり、自信がつき、楽しく会話することで、性格も明るくなった。

<今後>
将来、地域活性化に力を入れている会社に就職したいと思っている。そこで、自らの経験、学んだことを生かし、地域に貢献していきたい。

私の学び

経営情報学部経営総合学科 3年 服部夢大

きっかけ ... 「地域共生実践」
・1つのプロジェクトを企画する大変さ
・1から作るやりがいと楽しさ

かがやけ☆あいさすティナ研究所の活動
・パートナー企業とタイアップ
・県の研究員として、1つの課題に取り組む

「サステナブルな知識を高める参加型イベントを企画せよ」
サステナブルクッキング教室 at ケア長久手店

学び
・サステナブルとは？
・社会人の基礎知識
・プロジェクトの難しさ
・社会人のすごさ

成長面
・積極性、主体性
・物事の考えかた
・忍耐力
・リーダーシップ

学びと成長面を使い...

将来は...
一人でも多くの人たちを幸せにできる仕事に役立てていきたい

学び、活かす

経営総合学科 3年 平岩正行

学び
地域共生実践で共生の必要性を学ぶ

動く
学内で開かれた、障がいを持つ人との交流エコプロにて様々な年齢の人たちとコミュニケーションをとる

一方で...
地域の人が地元の政策（共生など）についてあまり理解していない事実を知る

そこで！
いろいろな人と接する中で、少しずつ相手ごとに説明の仕方を変えられるようになった

私は「動く」を通していろいろな人と接することができた。しかし、高齢者や障がい者の人たちと接する機会は多くはない。私は将来、地域密着型の会社に勤めたいと考えており、そこで自分なりのカタチで、住んでいる人に自分の住んでいるマチの事を知ってもらえる機会をつくりたい。

チームのHPもみてね

気になる人は、先輩に会ってみよう

・チームのHP

<https://www.facebook.com/ChubuunivESDecomoneyteam/>
(Facebook)



@EsdTeam (twitter)

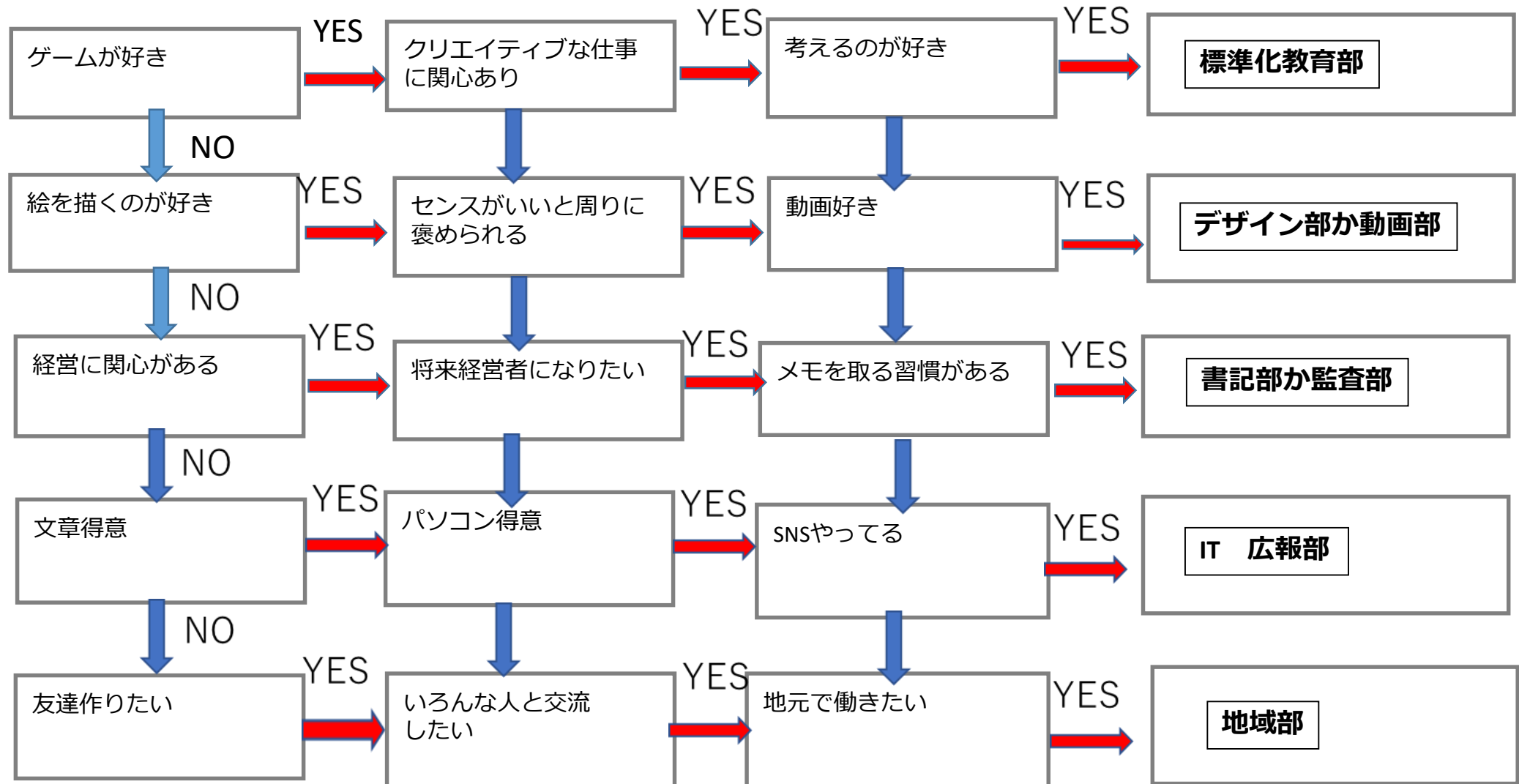
・活動場所(伊藤研究室:22号館3階)

研究室へGO!

・中部大学ESDエコマネーチームで検索

興味・関心		向いている人 = 興味・関心、性格いづれも一つ以上に○		性格・資質
アルバイトとゼミ両立	両立できる。アルバイト+ゼミの業務+履歴書かけることだらけ。	執行部		社交的
部活や生徒会の経験者	あなたのガッツは確実に活かれます! 現役部活生+スポーツ部	執行部、スポーツ部		行動力がある
たくさん仲間がほしい	専門ゼミ+先輩後輩との太いつながり	すべての部		柔軟である
他大学の学生との交流	全国:全国環境ISO学生大会(例 千葉大、三重大、阪大) 地元大学:日進市イベント(椋山、淑徳、名芸等)	執行部 地域部		機転が利く
産業界と交流	企業向けイベント主催、 エコプロ出展→ <u>42社(すべて大手)</u> で採用実績あり	標準化教育部 地域部		迅速(すぐやる)
人と接するのが好き	愛知県、名古屋市、春日井市での出展 毎年2000人以上体験	地域部		知的探求心が強い
作ることが好き	ゼロから自分たちで教材開発し、専門家のコメント反映	標準化教育		集中力がある
人の役に立ちたい	標準化教材=世界中で活用中、紙芝居=国内で活用中	すべての部		勤勉
企画・運営に関心あり	チャレンジ・サイト、COC活動	すべての部		まじめ
マネジメントに興味	3つの国際規格運用してまず一就職後即戦力になりますよ!	書記部 監査部		最後までやり遂げる
ビジネススキルup	社会人相手の業務を通じて確実につきます。	執行部、地域部		丁寧
旅行が好き	東京、学会発表、全国大会(国内)、水俣いきます	執行部		粘り強い
絵やデザインが好き	ゲーム教材、ポスター、紙芝居づくりします	標準化教育部		協調性がある
工作が好き	ブースのデザイン、ポスター等視覚的表現方法を実践します	デザイン部 地域部		継続力がある
外国語が好き	教材の翻訳 <u>4つの国際機関 16か国で採用されています</u> 外国人向けの英語実演、国際会議での実演	国際部		思いやりがある
IT好き	研究室=学生用PC7台、NAS運用管理、オンラインゲーム開発	IT部		人を笑顔にできる
情報発信したい	主要メディア向け広報資料、SNS広報、大学広報も担当	広報部 国際部		感謝の言葉がいただける
おもてなしに関心がある	数十万人の来場者に満足・感動を与えることができます	地域部		チャレンジ精神がある
				穏やかである
				努力家である

あなたは何部が向いてる？



地域創生メディエーター

学ぶ

授業で
知識を習得
【正課】

自立した社会人として地域の人々に関わるために、
地域社会の多様な背景を知り、専門的な知識を身につけよう。

Aの科目から1単位以上、
B～C科目から各2単位以上、合計10単位以上 必須

A キャリア教育科目

【自己開拓】

グループワークによる実習。協同作業を通じて自分をより深く知ることができます。

【社会人基礎知識】

自分の適性に合う職種や企業を選ぶための基礎的な知識を習得します。

B 特別課題教育科目

必修【地域共生実践】

選択

【持続学のすすめ】

【地域の防災と安全】【地球を観る】

【人類と資源】【グローバル環境論】

C 地域関連科目

メディエーター資格取得の動機や地域の理解に役立つ科目を自由選択

選択した科目で会得した知識が、地域課題へどう繋がったか、「関連」や「動機」、「成果」を表現できればOKです。

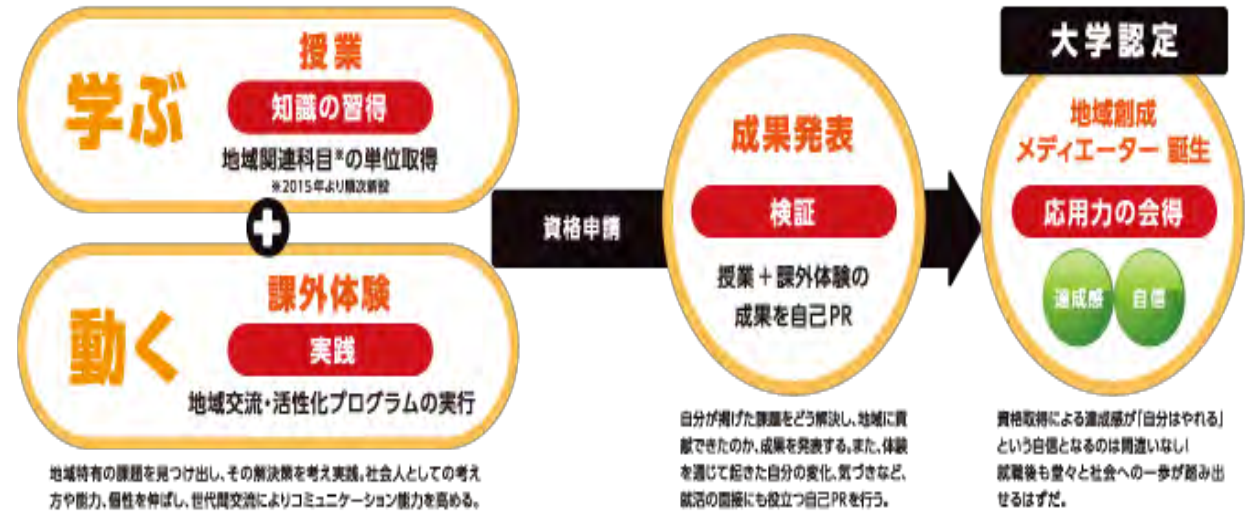
※地域関連科目の詳細は事務局まで

動く

課外体験に
参加・実践
【課外】

キャンパスを春日井市に広げて、まちの再生や地域活性化など、特有の課題に取り組む現場で解決策を考えて実践にあたります。

1プロジェクト以上に参加 必須



地域創生メディアーター 起案書

動く12 学生主体の標準化教育

目的: 学生主体の標準化教育を学び、青少年支援を行い、学生の主体性及び標準化教育とはどのようなものかを理解し、一人一人の成長に繋げること。

内容: ①標準を教える活動として、これまで開発した標準化教材や今年開発する教材を用いて、愛知県、名古屋市、春日井市、日進市で開催される環境イベントに出展し、一般市民を対象に標準化教室を開催する。②青少年支援の一環として愛知県青少年育成アドバイザー協会と連携し、スマートフォンの適正使用に関する情報リテラシー教育を行う。

学生の学び: 持続可能な開発を担う力量を身に着けるとともに、地域連携活動を通じて社会人としての必要な基礎力である、考え抜く力、チームとして働く力、前に踏み出す力をみにつける

動く12 学生主体の標準化活動

- 2020年度 BCM(事業継続マネジメントシステム)の教材開発

震災 感染症等のリスクにどう経営者として
対応するか

起案書作成

- エシカル消費推進
- 名古屋市プロジェクトに公募→採用
- 現在起案書に従い業務実施
- 今後報告書とパンフレット、ポスター作成

標準化教材開発

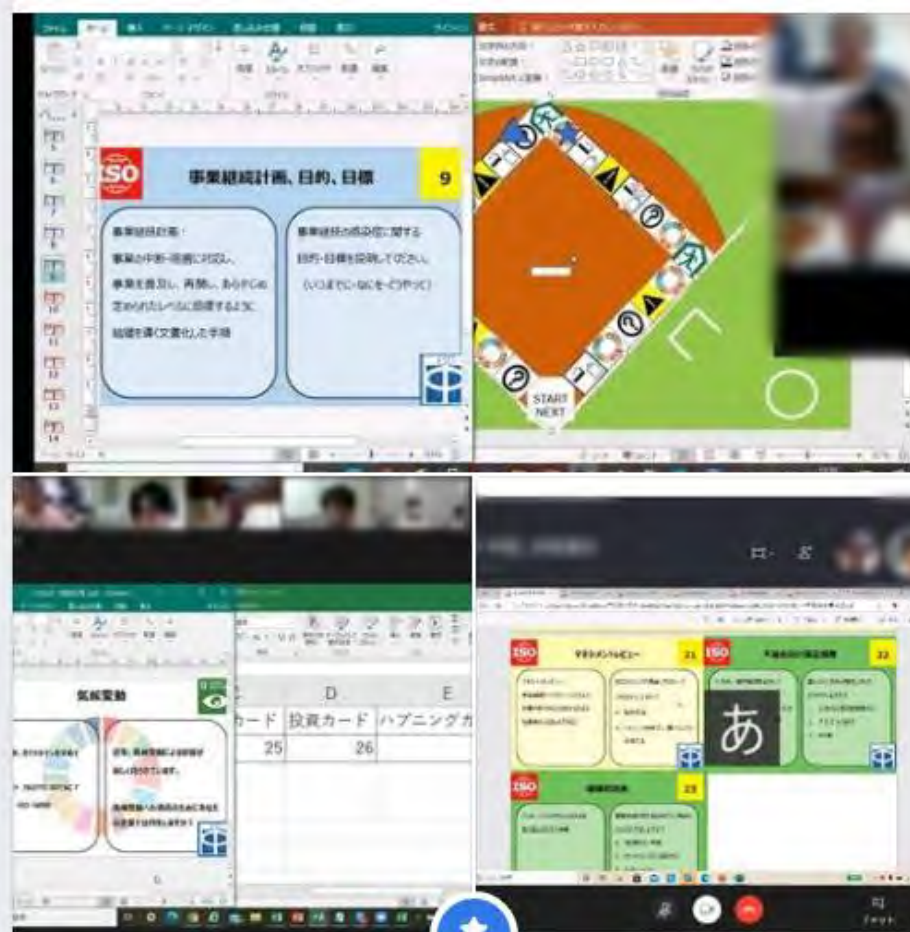
- 国際規格の学習
- 教材開発 ゲーム形式 会社を守ろう withコロナ

専門家コメントを受けて今後改訂



専門家との連携 オンライン

- 9月7日 経済産業省との連携
標準化政策管轄
Skype 2時間



★
専門家訪問
2020 in オンライン

『オンライン専門家連携』
～新教材改訂へ～

委員長の近松温志です。
2020年9月7日、8日、10日に専門家連携を行いました。

今年度実演させていただいたのは日本規格協会様、経済産業省様、NACS様、中央労働災害防止協会様です。

沢山のアドバイスを専門家の方からいただいたので早速後輩達に教材改訂をお願いしたいと思います。

専門家の皆様、ありがとうございました。

専門家との連携

- 9月7日 日本規格協会との連携
- 標準化の専門家
- BCM事務局
- ZOOM 2時間



専門家との連携

- 9月8日 NACS 消費者団体との連携
消費志向経営専門家
ZOOM 2時間



専門家との連携 オンライン

- 9月10日 中央労働災害防止協会との連携
労働安全衛生の専門家
ZOOM 2時間

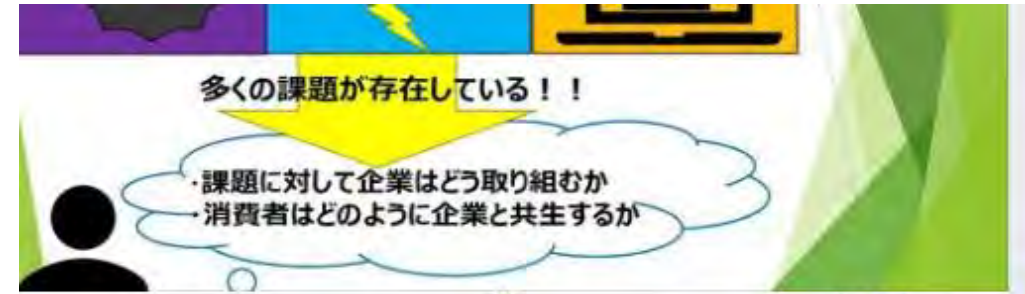


他大学との連携

- 環境マネジメント全国学生大会
- 9月9日 9時半から15時半
- 岩手大学、岐阜大学、
- 公立鳥取環境大学、
- 信州大学、千葉大学、琉球大学
- 中部大学ESDエコマネーチーム



プレスリリース



ESDエコマネーチームの教材を利用して開催

4,058名

活動報告

石上智裕 佐々木大樹

対象	経済産業省
専門家	NACS新日本支那 日本経済協会 東海農政局
授業	春日丘中学校 市野高等学校 名古屋国際専門学校 愛知商業高等学校
イベント	春日井市いけいけ 日産わいわいフェス 中部大学フェア 環境デーなごや 春日井まつり 名古屋消費生活 しび'ecoアクション エコブ自2019
企業 自治体	春日井ビジネスフ NACSイベント エコステージ グリーンシニア入会
発表 学芸	学芸 環境マネジメント
合計	

環境マネジメント全国学生大会

September 11 in オンライン

『環境マネジメント全国学生大会』

～チームの活動発表～

伝説のアドバイザー石上智裕です。

9月9日、オンラインで環境マネジメント全国学生大会に出場しました。

環境マネジメントについて取り組む他大学の団体の話を聞くことができ、とても刺激になりました。

うおおおおおおお！

もちろん自分達も周りが国立大学ばかりのなかで、がっつり議論してやりましたよ！

今後も連絡をとりたいですね。

学会発表

- 昨年度の活動発表
- 工学教育協会



第68回年次大会・工学教育研究講演会(学会)

September 10 in オンライン

お世話になっております。

2019年度委員長を務め、現在アドバイザー兼委員長補佐長をしております細川泰誠です。

2020年9月11日14時に学会発表があり、今年は細川泰誠が務めさせていただきました。

工学教育のグッドプラクティス分野で発表しました。グッドプラクティス分野での発表ということもあり、自分たちがこれまで行ってきたことは良い取り組みだと認めてもらっていると実感しています。

本来なら北海道大学で学会が開催される予定でしたが、コロナの影響でzoomを用いた学会となりました。

夏休みに入る前までに文章を完成させることに加え、その後のパワーポイントの作成まで1からやりました。もちろん伊藤准教授のチェックを何度も受けました。

その結果、学会発表の質疑応答では1人で堂々と答えることができました。過去で小寺先輩、萩原先輩に続く3人目となる学生1人対応で堂々と発表できたことに加え、永遠に名前が載るのはとても名誉なことなので最高の誕生日となりました。

中大連携

- 8月3日 25日 26日 27日 28日 3時間ずつ 12時間
- 9月9日 16日 17日 2時間ずつ 4時間
- 9月19日 文化祭 9時半から12時 2.5時間 合計18.5時間
- 春日丘中学の19名の生徒を対象に標準化教育実施
- 大学生から支援を受けた生徒が文化祭で標準化教育実施

実施内容

産業界の取組と提案→IPADでプレゼン

(SDGS セブンイレブン、パナソニック

BCM イオン)




環境デーなごや オンライン

- 出展者交流会での発表 9月26日
ZOOM 2時間
活動発表とディスカッション



刈谷青年会議所との連携

- 10月4日 リスクマネジメント教材の実演
- 2時間
- こども対象 ZOOMでの講演



HIKARIYAワークショップ
October 4 in オンライン

『HIKARIYAワークショップ』
～光り輝く未来に向けて～
担当者：細川泰誠、近松温志、細江一貴、石上智裕、永田悠真
委員長の近松温志です！
10月4日、刈谷青年会議所と連携して行う青少年育成事業、HIKARIYAワークショップを行いました。

全部で三回開催されるこの事業。自分達は第二回目を担当し、昨年度自分達が作成した教材「まもるくん」を使って子供達にリスクマネジメントについて考えてもらいました。

参加者は刈谷市及びその周辺地域の小中学生です。

教材体験は、医療従事者の社長・市長・スーパーの社長・車関係会社の社長の4つのチームに別れて行いました。

リスクマネジメントを扱う教材で子供には少しばかり難しい教材なのですが、しっかりと考えて大人顔負けの意見を考えてくれて素晴らしいかったです。

新型コロナウイルスなどが流行し、リスクマネジメントについてより一層考える必要があるこのご時世、とても貴重な経験になったと思います。
今日学んだことを忘れずに将来国を背負って立つ大人になることを期待します😊

ゼミ生のメンバーも適格なファシリをしてくれてさすが一年間エコマネーチームで鍛えてきたメンバーだと思いました。

最後に今回のイベントを主催してくれた刈谷青年会議所の皆様へ感謝を述べて閉じたいと思います。
中部大学ESDエコマネーチーム
責任者：細川泰誠
文責：近松温志

高大連携

- 市邨高校
- 10月30日1410-1500 地理Bの時間
- 市川雅歳先生と連携
- ZOOM
- BCM

企業連携 NACS

- 11月17日 ZOOM 4時間の予定
- イオン トヨタ カゴメ デンソー
- 消費者志向経営と標準化

消費者イベント 無人出展

- イオン大曽根 イベントスペース
- 1月30日 10時から19時

消費者イベント

- オンライン展示会
- 2021年1月18日(月)～(予定)

SDGsイベント

・2月5日 6日 愛知県

